

私たちが目指すもの (ミッション)

12歳の少年が立ち上げた、カナダの国際協力NGO
フリー・ザ・チルドレンの日本支部です。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは2つのFreeの実現を目指します。

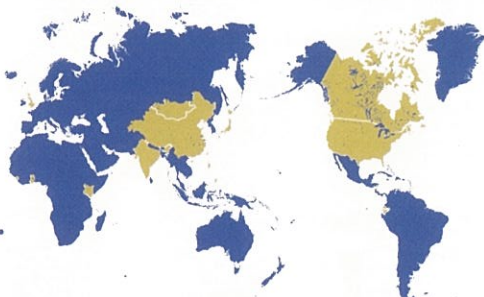
- ① 貧困や児童労働から子どもをFree (解放) にする。 ② 「子どもは無力だ」という考えから子どもをFree (解放) にする。

活動地域

カナダで12歳の1人の少年から始まった活動はアメリカ、ヨーロッパ、中南米、アジアへと広がり、
今では全世界で230万人の子どもたちが活動に参加しています。

カナダ、アメリカ、日本、イギリス、中国、
インド、シエラレオネ、ガーナ、ハイチ、
エクアドル、ニカラグア、フィリピン、
モンゴルなど

世界 45 カ国以上



活動内容

ミッションを実現させるため、海外や国内で事業を行っています。

国内事業

様々なプログラムを通じて、日本の子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出し、社会問題を解決するために実際に行動を起こすことのできる子どもを育てています。

設立以来、延べ2万人以上の日本の子どもたちが活動に参加し活動の輪は年々広がっています。

海外事業

5つの柱の「村の自立を応援しよう!」プログラムを実施し、貧困地域の村々が貧困から抜け出し自立できるよう支援しています。



PICK UP

高校生がモンゴルにゲル図書館を設立!

当時16歳の瀬川愛葵さんは、フリー・ザ・チルドレンに出会い、貧困のため過酷な生活を送るモンゴルの子ども「本を読みたい」という願いを知りました。その後、学校の仲間と2年間募金活動を実施し、モンゴルの子どもたちにゲル図書館を贈ることができました。



フリー・ザ・チルドレン はじまりの物語

■きっかけはある新聞記事から……

1995年、当時12歳だったカナダ人のクレイグ少年はある朝、ひとつの新聞記事に目が留まりました。

「児童労働廃絶を訴えていたパキスタン少年、射殺!」

それは、10歳の時にじゅうたん工場での強制労働から逃れ、その後、自身の体験を話す活動家になったパキスタン人のイクバル少年(当時12歳) が何者かに射殺されたことを報道する記事でした。

クレイグは同い年のイクバル君が殺されたことや、世界では働かされている子どもがたくさんいることを知って、大きなショックを受けました。そして子どもの問題なら子ども自身が立ち上がるべきだと考え、何かしたいと思い、子どもが子どもを助ける国際協力団体Free The Children (FTC)を設立しました。

■日本で活動スタート

1997年アメリカのNGOに所属していた中島早苗(現代表)がFTCとクレイグの活動に出会いました。

団体の理念に賛同した中島は、日本に紹介しようと帰国後の1999年に日本で活動をスタートしました。



マザーテレサに励まされたクレイグ(1995年)



Be the change!

好きなこと×国際協力

はじめてみよう! あなたにできること。



「好きなこと、得意なことを活かして活動する」

それがフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動のモットーです。アクセサリーやTシャツの販売に関わったり、手紙を書いて支援先の子どもと友達になったり、スピーチが得意であれば一緒に出張授業をしにいこう。楽しい気持ちでできる活動を早速スタートしてみよう!

参加しよう!

フェアトレードをみんなで発信しよう!



FTCJで取り扱うフェアトレード(公平貿易による生産者支援)商品や学校の文化祭、地域のイベントなどで販売することができます。

詳細はこちら



詳細はこちら

書き損じはがきを集めて国際協力!



書き損じはがきや切手、商品券など使わない金券を集めています。換金したお金は、児童労働など貧困に直面する人々の自立支援や国内の子どもたちの活動サポートに役立てられます。



We create change 1円玉を集めて世界に水を届けよう!



1円玉を集めて水支援への寄付をするキャンペーンです。1円玉2,500枚で1人に対して一生暮らすために必要な水を供給できます。

詳細はこちら



詳細はこちら

フィリピン・インドの子どもと手紙を通してお友達になろう!



文通プログラムは、FTCJの支援先の地域の子どもの手紙のやりとりができるプログラムです。現地の子どもたちとお友達になりませんか?



スタディーツアー・キャンプ・イベントに参加する



毎年春休みや夏休みに、スタディーツアーやキャンプを実施しています。またイベントでのボランティア募集なども行っています。最新情報やイベントカレンダーをチェック!

イベントカレンダー



詳細はこちら

毎日のクリックで支援する



QRコードからアクセスし、「応援する」ボタンを押すだけで、無料でフリー・ザ・チルドレン・ジャパンをご支援いただけます。ぜひブックマークしてご協力ください。



学ぼう!



僕たちは自由だ! クレイグ少年の南アジア50日間の冒険
FTC創設者クレイグの南アジアの旅の様子や児童労働についてとてわかりやすく書かれています。



世界を変える! みんなの力 Me to We
FTC創設者クレイグと兄マークのFTCを始めたきっかけやその後の活動などが書かれています。

書籍詳細はこちらから↓



チャレンジ! キッズスピーチ
「もっと問題を伝えたい!」世界の現状をみんなに知ってほしい」と熱い思いを行動に移したい! そんな方にオススメのスピーチ力を高める本です。



フィリピンの少女ピア ~性虐待を乗り越えた軌跡~
両親と暮らしたことがなく、8歳からセックスワーカーとなったピア。彼女の生い立ちについて書かれています。

YoutubeやWEBサイトで動画をアップしています!



FTCJ WEBサイトの動画紹介ページはこちらから↓



最新情報をGETしよう!

FTCJメンバー登録(無料)

メンバー登録をすると毎月2回発行のメールマガジンが届くほか、活動のサポートが受けられます!



LINE@で友だち追加!

国際協力イベント活動情報やキャンペーン情報などをお届けしています。(不定期)



メンバーの声

自分に何ができるのか? 世界の子どもたちをどうやって助けることができるのか? そう思っているときにFTCJに出会いました。



それから仲間を集めて、インド学校建設のために募金活動やイベント出演、チャリティーサッカー大会などを行いました。FTCJはどうしてよいか悩んでいたときに、一歩を踏み出す勇気、人前で話す勇気を教えてくれました。(福井雄一 21歳・大学生)

FREE THE CHILDREN

認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

ftcj

検索

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 安藤ビル3F TEL: 03-6321-8948 FAX: 03-6323-6504 E-mail: info@ftcj.com Web: www.ftcj.com

ご寄附はこちらまで

■銀行振込: 三菱東京UFJ銀行 上野支店 普通 5360502 (トクビ)フリーザチルドレンジャパン
■郵便振替: 00120-5-161532 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

*当団体は認定NPO法人です。みなさまからのご寄附は「特定寄付金」とみなされ「寄付控除」の対象となります。詳しくは団体ウェブサイトをご覧ください。

PTA会員の皆様

世田谷区立旭小学校
校長 菊地 まゆみ
PTA会長 志村 ちあき
家庭教育学級委員長 武隈 善子

第2回家庭教育学級 報告書

10月15日、本校多目的室にて「テレビやニュースでは教えてくれない～世界のいま」と題し、国際協力団体フリー・ザ・チルドレン・ジャパン理事 出野 恵子さんをお招きして、世界の現状を知り身近に生かせるお話をしていただきました。また、実際にボランティア活動をされている中学3年生の與座 遙さんに体験談をスピーチしていただきました。

講師 国際協力団体フリー・ザ・チルドレン・ジャパン理事 出野 恵子さん
中学3年生 與座 遙さん

参加者 世田谷区教育委員 杉本 一郎先生
旭小学校 菊地校長 寺西副校長
PTA会員 30名

講演内容

フリー・ザ・チルドレンの紹介

貧困や児童労働、子どもは無力だという考えから子どもを解放（フリー）することを目指して、活動されている。様々なプログラムを通じて、子どもたちのやってみたいという気持ちを引き出し、社会問題を解決する行動を起こすことのできる子どもを育てている。

出野さんより、「世界のいま」について

日本の食料破棄量は、貧困国への世界中の食料援助の量よりはるかに多いこと、食料破棄の3割は、発展途上国からの輸入によるものなど、具体的なデータにより、世界の現状をお話しいただきました。

ワークショップ

アクティブラーニング：世界地図を作り、ペットボトルのキャップで地図上にデータを作る。

グループに分かれて、「世界のいま」についてどう感じたか、個々の考えを述べた。示されたデータより、どういった傾向が考えられるか、どうしてこのような状況になったのか推察した。解決に必要なことをについて話し合った。

出野さんより

貧困が、負のサイクル（教育を受けられない→収入がない→子どもに教育を受けさせられない）を作っている。貧困が児童労働を生み、教育のみの支援では負のサイクルを断てない。包括的な支援が必要である。

「自分ができる小さなことに、大きな愛をもって取り組めば、世界は変わる。」との言葉に励まされて始めた1人の少年の活動から、子どもたち自身が立ち上がった。子どもでもできるということを実感している。

体験談 中学3年生 與座 遙さん

小学校5年生より、ボランティア活動をしている。活動を通じて、社会に対して意欲がわき、自分にもできると自身がもてるようになった。やるかやらないかで、変わるのので、1人1人が始めてほしい。

出席者からの感想

- ・ 力を出し合えば、世界は大きく変えられることを知り、希望を強く感じた。
- ・ ペットボトルのキャップで視覚化することで、気付きや問題点が浮かび上がった。子どもにも体験させたい。
- ・ 当たり前生活を改めて見直し、子どもと一緒に考えるきっかけにしたい。
- ・ 「ぜひ、子ども達に出張授業を受けさせたい。」との声が多かった。

以上